

2026 年度事業予算計画書

2026 年 4 月 1 日

(2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

一般社団法人 Home NOC Operators' Group

目次

法人運営.....	3
事業計画.....	4
他の技術コミュニティとの交流や勉強会の開催に関する事業.....	4
ネットワークをはじめとする設備の設計、構築、運用に関する事業.....	4
新しいネットワーク技術を利用した実験に関する事業.....	5
インターネット接続性や設備の提供やその運用に関する事業.....	5
予算計画.....	6

法人運営

- 安定した法人運営

安定した法人運営のためには、会費と寄付による安定した資金が必要不可欠である。当法人の活動に多くの方からご理解を頂くために、積極的に成果のアウトプットを行うと共に、法人会員向けに会報を発行する検討を行う。また、インターネットコミュニティの発展や人材育成への貢献に関心のある企業・団体を法人会員として積極的に受け入れ、当法人の活動を支える多様な収益基盤の構築を図る。

- 物価高騰や為替の円安傾向に伴う施策検討

当法人の事業で利用しているネットワークサービス（通信回線、データセンターなど）は昨今の物価高騰や為替などの社会情勢を受けて値上げが続いている。本年度より一部実験ネットワーク会員の会費改定を行ったが全てのコストを吸収することは難しい状況である。一部の設備の見直しなどを行いコストの適正化を図る。

- 学生正会員の加入推進

昨年に引き続き、技術コミュニティなどを通じて学生正会員の加入を推進する。今後の本法人とインターネット業界を率いていく若い世代の育成を目指す。

事業計画

他の技術コミュニティとの交流や勉強会の開催に関する事業

- 海外のカンファレンス参加

積極的に海外のカンファレンスに参加し、他の組織のエンジニアとの交流を行うと共に、当法人の活動について積極的なアウトプットを行う。また、台湾とフィリピンの技術コミュニティとの交流を活発化する。

- 国内のカンファレンス参加

昨年度に続き積極的に国内のカンファレンスに参加し、他の組織のエンジニアとの交流を行うと共に、当法人の活動について積極的なアウトプットを行う。また、一部のカンファレンスにスポンサーとしてブース出展を検討する。

- 台湾の技術コミュニティとの交流

2026年5月に予定されている台北 POP の開設にあわせて、同月開催の TWNOG へ参加し、当団体の実験ネットワーク会員である国立成功大学 ITLAB の皆様、STUIX などの学生の活動が活発である台湾の技術コミュニティとの交流を強化する。台湾での新 POP の構築については成果発表の実施を検討する。

ネットワークをはじめとする設備の設計、構築、運用に関する事業

- 台湾拠点の構築

台湾台北にある Chief Telecom のデータセンターに新 POP の構築を 2026年5月に学生正会員メンバー中心で行う。台北 POP では初の海外トランジットと現地のコミュニティ IX である STUIX に接続を開始する。

- 新 Ether IP トンネル(DPDK 方式)の検討

昨年度に導入を開始した FreeBSD 方式の Ether IP トンネルの他に、ソフトウェア冗長と更なるパフォーマンス向上を目的に、Linux/DPDK を利用した Ether IP トンネル方式の検討を行う。

- 運用自動化の推進

現在は BGP(トランジットを除く)方式で接続する実験ネットワーク会員のみとなっ

ている設定自動生成の適応範囲を拡大、定型的な運用作業について自動化を積極的に推進する。

- ルーティング設計見直し

現在の BGP ルーティング設計は当法人が AS 運用を開始した 10 年前から変化していない。しかし、複数の IX への接続や海外 POP の増加により、現在の設計では対応できない部分が増加してきており、ルーティング設計の全面的な見直しを行う。

新しいネットワーク技術を利用した実験に関する事業

- RFC9234 共同検証への参画

ルートルークを防止するための新技術である RFC9234(UPDATE および OPEN メッセージ内の役割を用いたルートルークの防止と検出)の共同検証を複数社と合同で実施し、成果の発表を行う。

- 新技術のリサーチとチャレンジ

各技術コミュニティへの参加などにより最新の技術について情報収集を行い興味のある技術について検証や当法人のネットワークへの実装を行う。

インターネット接続性や設備の提供やその運用に関する事業

- 渋谷データセンター(POP03)の移設

渋谷データセンター(POP03)の電力不足や設備の老朽化への対応として、新宿データセンターへの移転を行う。新宿データセンターでは 10Gbps を基本としたネットワーク構成とし、ネットワークアーキテクチャを刷新する。

- 会員管理システム「ダッシュボード」の高度化

実験ネットワーク会員の増加により、設定変更作業や会費請求事務にかかる工数の増加が課題となっている。「ダッシュボード」の機能強化を行いこれらの作業にかかる工数を削減する。

以上

予算計画

科目	金額 (単位：円)
(1) 経常収益	
ネットワーク会員受取会費	1,200,000
正会員受取会費	40,000
法人会員受取会費	100,000
受取寄付金	250,000
雑収入	5,000
経常収益計	1,595,000
(2) 経常費用	
事業費	
通信費	650,000
賃借料	500,000
消耗品費	80,000
手数料	50,000
事業費計	1,280,000
管理費	
会議費	0
消耗品費	10,000
通信費	15,000
管理費計	25,000
経常費用計	1,305,000
期首正味財産残高	△242,340
期末正味財産残高	47,660